

平成24年度  
予 算 総 会

平成24年3月28日

資 料 目 次

	ページ
1 平成24年度予算編成について	—1・2—
2 収支予算書	
(1) 収支予算書総括表(正味財産増減計算ベース)	—3—
(2) 収支予算書内訳表(正味財産増減計算ベース)	—4・5—
3 事業計画書	
(1) 公益目的事業会計	—6・7・8—
(2) 物品払い出し計画書	—9—
(3) ボランティア奉仕計画書	—10—

公益社団法人 熊本善意銀行

## 平成24年度予算編成について

熊本善意銀行

### —はじめに—

熊本善意銀行は、本年4月1日から「社団法人」が晴れて「公益社団法人」としてスタートいたします。当行は、昭和38年3月に伊豆富人初代会長が提唱発足し、平成5年4月に社団法人となり、創立49年目に「公益社団法人」となりました。この長い年月を「こころの架け橋」として当行が運営できたのは、「県民からの善意の預託金」「会員企業の皆様」「熊本日日新聞社グループ」の支援と心から感謝申し上げます。これから「公益法人」としての自覚をもって機能のさらなる充実・強化・拡充を図り、社会福祉の公益事業に取り組んでいきます。

### —概要と考え方—

平成24年度の予算は、熊本善意銀行が公益社団法人として初めての予算編成でした。公益法人の予算は「①総収入金額のうち公益目的事業費用は50%以上とする。②公益目的事業費の支出は収入額の同額以上とする。③遊休財産の繰越額は公益目的事業費以下とする。」の前提条件がありこれらを順守しました。また、予算（案）の表示方法は従来と異なり、公益法人の会計基準に変更しました。

前年度は3月11日に発生した東日本大地震が東北地方に大きな災害をもたらし、さらに福島原発事故を誘発するなどその被害は拡大しました。当行は、熊本日日新聞社と熊本放送の3社で救援金を募り、その金額は実に14億円を超えました。これら救援金は、全て日本赤十字社県支部に預託しました。過去の募金活動でも今回が最高額で県民の高い関心と善意が集まりました。ただ、募金活動は、従来の新聞、テレビのマスコミ機関や各種の福祉団体以外に、銀行・百貨店を含む企業の間でも行われました。また、県内には、580を超える私どもと同じ一般福祉法人があり、同様に募金活動を致しました。

この結果、当初予定いたしました預託金は東日本大震災募金と重なり、計画を下回る金額となりました。他県では預託金が前期の半分以下と大幅減の善意銀行もありました。

今年度の予算は、公益社団法人の寄附金に関する税制上の優遇措置もありますが、震災後の厳しい経済状況等があり、景気低迷は継続すると想定されます。そのなかで熊本善意銀行は、公益法人として地域に根差した社会福祉サービスに取り組み「善意のこころの架け橋」を実践し、温かい心をもって続けていきたいと考え、以下のように予算編成をいたしました。

#### 《法人会計》

法人会計は、熊本善意銀行の運営維持に必要な基本経費をまかなう会計で、会員の皆さまからの会費収入に支えられております。しかし、収入の半分以上は公益目的事業とするため、総予算は850万円と減少しました。

管理費は、業務内容で費用が公益目的事業と法人事業に分配したため激減し、従来の4分の1以下で支出合計は340万円となりました。

#### 《公益目的事業会計》

公益目的事業会計は、善意銀行の社会福祉活動の根幹を表す会計です。その収入は、広く県民から寄せられる“善意”の預託金です。本年度からこれに会費収入の50%が加わり、24年度収入は、1,765万円の予算と致しました。

公益目的事業は、従来の「小・中学校への車いす贈呈」や「100歳到達者の表彰」そして全国でも例のない「青年海外協力隊への郷土紙送付」などは好評で、これまで通り行っていきたいと思っております。さらに、障がい者福祉・児童福祉・老人施設等の払出し申請に基づく公益事業予算は、新聞・ラジオ・ホームページ等を活用し広く門戸を開いてケースに応じ、柔軟に対応していきたいと考えております。事業費には会計基準の変更で公益業務に従事した人件費等が含まれ、約2,500万円と収入を上回る払い出しとしました。

平成24年度 収支予算書(正味財産増減計算ベース)総括表

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位 千円)

科 目	当年度	前年度
I 一般正味財産の部		
1, 経常増減の部		
(1) 経常収益		
① 受取会費	17,150	
② 受取寄付金	9,050	
③ 雑収益	5	
経常収益計	26,205	
II 経常費用		
(2) 経常費用		
事業費	24,921	
管理費	3,480	
経常費用計	28,401	
当期経常増減額	-2,196	
2 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	
経常外収益	0	
(2) 経常外費用	0	
経常外費用	0	
当期経常外増益額	0	
当期一般正味財産増減高	-2,196	
一般正味財産期首残高	22,600	
一般正味財産期末残高	20,404	
一般財産期末残高	20,404	

(注1) 公益社団法人移行年度につき、前年度予算額は記していない。

(注2) 災害救援預託収入に連動する支出に限り予算額を超えて執行することができる。

平成24年度 収支予算内訳表(正味財産増減計算ベース)

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位 千円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	8,575	8,575	17,150
受取会費	8,575	8,575	17,150
② 受取寄付金	9,050	0	9,050
受取寄付金	9,050	0	9,050
③ 雑収益	3	2	5
受取利息	3	2	5
経常収益計	17,628	8,577	26,205
(2) 経常費用			
① 事業費	24,921	0	24,921
役員報酬	299	0	299
給料手当	5,561	0	5,561
臨時雇用賃金	797	0	797
福利厚生費	913	0	913
旅費交通費	498	0	498
印刷製本費	166	0	166
通信運搬費	332	0	332
消耗品費	498	0	498
賃貸料	884	0	884
会費発行費	581	0	581
支払助成金	3,870	0	3,870
チケット購入費	500	0	500
記念品購入費	2,500	0	2,500
新聞代・送料	1,600	0	1,600
車いす購入費	700	0	700
毛布購入費	1,200		1,200
広告宣伝費	3,104	0	3,104
減価償却費	518	0	518
雑費	400	0	400

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
②管理費	0	3,480	3,480
役員報酬	0	61	61
給料手当	0	1,139	1,139
臨時雇用手当	0	163	163
福利厚生費	0	187	187
旅費交通費	0	102	102
印刷製本費	0	34	34
通信運搬費	0	68	68
減価償却費	0	106	106
消耗品費	0	102	102
賃貸料	0	181	181
会報発行費	0	119	119
広告宣伝費	0	636	636
雑費	0	582	582
経常費用計	24,921	3,480	28,401
当期経常増額費	-7,293	5,097	-2,196
2経常増減の部	0	0	0
(1)経常外収益の部	0	0	0
経常外収益	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
経常外費用	0	0	0
当期経常外増益額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-7,293	5,097	-2,196
一般正味財産期首残高	8,900	13,700	22,600
一般正味財産期末残高	1,607	18,797	20,404
正味財産期末残高	1,607	18,797	20,404

# 平成24年度事業計画

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

平成24年度の事業計画は、昨年の中東大震災の影響で景気低迷もあり、公益法人として税制面の優遇はありますが、預託金の減少も考慮し前年並みといたしました。

限られた予算の中、当行は(1)障がい者や児童福祉、被災者援助、福祉活動支援グループなどへの助成、(2)百歳をむかえたお年寄りやひとり親家庭の子どもへの入学祝い、学校への車いす寄贈などの物品助成、(3)登録ボランティア団体の活動の橋渡し、といった中核事業を引き続き推進していきますが、今年度は特に公益法人になったこともあり、事業の活発化と公平性を保つために、新聞、ラジオのほかにホームページをより充実させ、啓発・

広報に力を入れていきます。同様に、啓発などを通じて近年低迷気味の金銭預託の増加に向けた活動をさらに推進していきます。

## 1、[公益目的事業]

地域社会が直面する問題の改善を目的とする事業に対し、明るい地域社会を目指し団体・個人に金銭助成や品物支援を行います。

### 助成事業

#### [事業内容]

- |  | [備考]  |
|--|-------|
| ① 障がい者福祉関係   | 熊本大会  |
| ・障がい者全国・九州ブロック大会の助成。                               |       |
| ・脳性マヒ児の「学習キャンプ」などに助成。                              |       |
| ・ダウン症児(者)親の会へ助成。                                   |       |
| ・県重度障がい者を守る会へ助成。                                   |       |
| ・上記以外に障がい者福祉関係のスポーツ・対外研修などで<br>13件助成。              |       |
| ② 児童福祉関係   |       |
| ・児童施設の夏季行事に助成。                                     |       |
| ・県母子寡婦福祉連合会「母と子の運動会」に助成。                           | 約700名 |
| ・熊本市母子会行事助成。                                       |       |
| ・熊本少年友の会へ助成。                                       |       |
| ③ 災害見舞い金   |       |
| ・災害(火災・水害・地震)に遭われた家族に見舞金を贈る。                       |       |
| ④ 各種団体の助成  |       |
| ・熊本ホームレス自立支援の会・ボランティア団体の支援と<br>その他申請のあった地域福祉団体へ助成。 |       |

## 物品助成

### ① 敬老の日「百歳到達者」に記念品を贈呈（第32回）

- ・県内の満百歳を迎える方々に記念品を贈り長寿をお祝いする。千代の園酒造預託の清酒「百歳萬歳」も併せて贈る。本年の対象者は約480名の見込み。記念品の配送は、熊日輸送センター・熊日販売センターの協力を得て敬老の日に自宅か老人施設などへ配る。

### ② 新聞代・送料

- ・熊本県出身の青年海外協力隊へ郷土紙を送る。（通年） 30～36名  
熊本県青年海外協力隊員の要請により、世界各地の発展途上国で農業指導や技術支援を行っている熊本県出身の隊員たちに、激励の気持ちを込めて郷土紙を送る。 送料を含む

### ③ 車いす購入

- ・近年、障がいを持つ子どもの中には、養護学校から居住地にある普通校への就学を希望する児童が増えている。 小・中学校に計20台  
車いす配置には文部科学省の予算措置が少ないため当行に支援要請が寄せられた。また、障がいを持たない子どもの総合学習での車いす体験にも使用される。

### ③ 表彰・祝い記念品

- ・ひとり親家庭の小学校入学祝い。（学用品贈呈）
- ・施設児童の高校・専門学校進学祝い。（記念品贈呈）
- ・交通遺児の中学卒業祝い。（同贈呈）

### ④ 毛布・タオル購入

- ・県下の被災者へお見舞いとして毛布を贈る。
- ・障がい者スポーツ大会の参加賞としてタオル約1,000枚を贈る。

## 広告宣伝

- ・市民、団体、企業の社会貢献活動を啓発、啓蒙するとともに、公益活動への関心を高め下記の媒体を使用し、活動の手がかりを提示する。
- ・新聞広告の掲載、ラジオでの呼びかけ。
- ・ホームページの充実、その他チラシなどの制作。
- ・会報の発行。

## 事業推進

- ・各種団体申請の支援等
- ・助成事業及び物品購入の予備費。



## 2、[事業の推進]

### 総会、理事会、運営委員会等に関する事項

#### ① 総会

- ・ 定時総会の開催は、6月及び翌年3月の2回開催する。
- ・ 臨時総会の開催は、必要に応じて開催する。

#### ② 理事会

- ・ 定時理事会の開催は、4か月超える間隔で2回以上開催する。
- ・ 臨時理事会の開催は、定款32条のいずれかに該当する場合に開催する。

#### ③ 運営委員会

- ・ 委員会運営における整理・調整し効果的な事業の推進を図ることを目的に開催する（年6回以上）

#### ④ 同種活動団体との連携

- ・ 全国善意銀行連絡協議会が行う総会や理事会に参加し、情報の共有や活動の参考にします。
- ・ 県社会福祉協議会等の他団体と年に数回の会合を持ち、「ボランティア活動日本一」の運動推進や情報交換を図ります。

## 3、[その他の事業]

#### ① 預託や新規会員の拡充

- ・ 企業、個人からの預託は、新聞・ラジオのほかにホームページを携帯サイトで見ることができ多様な広報活動を行い細かな対応をしていきます。新規会員は、前記PRの活用とさらに機関紙、チラシ等で勧誘を図っていきます。

#### ② ボランティア団体等の拡充

- ・ ボランティアは、約25の団体、個人が年間を通じて奉仕活動をしています。活動の団体は、その年齢構成が年々高くなってきています。また、活動先が固定し施設からの要望に答えられない事も出てきています。これらの改善にも若年層のボランティア活動者や他のボランティア団体を取り込み、改善を図ってまいります。

## 平成24年度「物品預託と払出」計画

平成24年4月1日から平成25年31日まで

(23年度実績参考)

施設分類	預託する団体・人	預託(払出)物品	払出先
主に 老人施設	県茶商業協同組合 千代の園酒造 九州ラーメン党	新茶 清酒「百歳万歳」 ラーメン	老人施設聖母の丘など9施設へ 24年度百歳到達者 みどりの館へ
主に 児童施設	熊本そば名店会 マルシヨク 高橋稲荷神社 生田製茶工場 中央ゴルフ 九州電保労熊本本部青年委員会 興農園 熊日広告局営業企画部	天ざるそば手打ち実演 リンゴ 果物・お菓子(ご神饌) お茶 おもちゃ類 紅白餅 花の球根 パンケースなど	慈愛園子供ホームへ 熊本天使園など52施設へ はばたきホームなど2施設へ 熊本市大江荘など3施設へ 児童施設龍山学園など10施設へ 熊本市大江荘など2施設へ 龍山学園など21施設へ 県母子寡婦福祉連合会へ
主に 障害施設	大江田寿之 相良スミ " 牧寛	ミニトマト スイカ ジャガイモ 花の球根	愛育学園など10施設へ 熊本ライトハウスなど8施設へ 千草寮など5施設へ 希望ヶ丘学園など4施設へ
その他	片岡理奈ほか4名 米村芳雄 海平輝夫 くまもと障害者音楽祭実行委員会 坂田和夫など	米・玄米 洗剤 花の種 入場券 未使用切手・はがき	NPO法人くまもと支援の会へ " 花原川を守る会へ 預託者へ 業務連絡用
換金 するもの	不特定多数	使用済み切手など	換金し、福祉資金へ
被災者へ	熊本善意銀行	毛布	件数 80件

## 平成24年度「ボランティア奉仕」計画

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(平成23年度実績参考)

奉仕する団体・人	ボランティアの種類	回数	奉仕先
磯野功(山鹿市)	理容奉仕	11	チブサン荘
松岡進吾(熊本市)	マジック披露	4	シルバーふれあいの里など
熊本奇術クラブ(熊本市)	〃	4	龍山学園など
プードル&piero(熊本市)	〃	10	うすま苑など
フーちゃんとおごひげのおじさん(熊本市)	〃	17	黒髪しょうぶ苑など
ボランティア歌舞団ひまわり(熊本市)	演芸奉仕	26	愛・ライブ内牧など
ボランティアグループ和会(熊本市)	〃	106	るり苑など
由友会(菊池郡)	〃	140	デイサービスセンター星の里など
菊陽さくら会(菊池郡)	〃	46	きほう園など
藤扇城北福祉会(玉名市)	〃	309	老人保健施設樹心台など
菊踊会(玉名市)	〃	274	たまきな荘など
タレント&タラント(熊本市)	大道芸	4	昭孝園黒髪ステーションなど
明日香会(熊本市)	〃	41	桜ヶ丘児童会館など
山部美郷(熊本市)	津軽三味線披露	10	県コロニー協会など
スチールギター愛好会	スチールギター演奏	9	デイサービスセンター赤とんぼなど
ロゴス腹話術研究会熊本支部(熊本市)	腹話術	4	たんぼぼ保育園など
吉本商事(熊本市)	相撲甚句など	1	近見老人憩いの家
九州電保労青年委員会(熊本市)	高所作業	1	明生園
中村ファミリー(熊本市)	民謡	3	宇城市人権フェスタ三角など
ブア・ケニ・ケニ(熊本市)	フラダンス	2	新屋敷ふく夏まつりなど
坂東流 三継会(熊本市)	日本舞踊	2	ゆうしんデイサービスなど
熊本たけのこ会(熊本市)	人形劇	1	福祉作業所 ライン工房
渡漣匿名(熊本市)他2名	使用済み切手整理	77	換金の為、大きさを整理
合 計		1,102	